

【犠牲祭（イスラム教の祝日）期間に伴う注意喚起】

- 9月1日（金）から9月4日（月）頃までは、イスラム教の犠牲祭に当たります。
- 近年、ラマダン期間中に各国でテロが頻発するなど大規模宗教行事に際しては、テロの危険が高まる時期にあるため、一層の注意が必要です。

バリ州、NTB州、NTT州にお住まいの皆様へ
平成29年8月23日（総17第15号）
在デンパサール日本国総領事館

1 9月1日（金）から9月4日（月）頃までは、イスラム教の犠牲祭（イドゥル・アドハ）に当たります。犠牲祭は、イスラム教徒によるサウジアラビアの聖地メッカへの大巡礼が終わりを迎える時期で、イスラム教徒が多数居住する地区等では、犠牲祭にかかわる宗教行事が行われることがあります。

2 現在のところ、犠牲祭に際してテロの実行を呼びかける声明などは確認されていません。しかしながら、シリアやイラクでその支配領域を縮小させているISIL（イラク・レバントのイスラム国）による存在感を示すためのテロ攻撃などの可能性は排除できません。大規模行事はテロの標的となり易いことに留意し、テロへの注意を強化する必要があります。

3 つきましては、犠牲祭期間中には、従来以上に安全に注意する必要があることを認識し、最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、改めて危機管理意識を持つよう努めてください。テロ、誘拐等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、特にテロの標的となりやすい場所（※）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

（※）モスク等宗教関連施設、政府・軍・警察関係施設、欧米関連施設、公共交通機関、観光施設、デパートや市場等不特定多数が集まる場所等

4 在留届の提出または、「たびレジ」への登録を必ず実施してください。

3ヶ月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3ヶ月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。（「たびレジ」の登録：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>）渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。